

3月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/03/17 (月)	東京はFRBが公定歩合を緊急利下げ、しかしアジア株の下落もあり円高止まらず。欧米はリーマンBの発表にも信用不安は払拭できず、ただ介入警戒感などもありドルはやや底堅い値動き。	・FRBが25BPの緊急利下げ実施 ・第4四半期米経常収支 1729億ドル、1月の米対米証券投資374億ドル、2月の鉱工業生産 0.5%、同設備稼働率80.9%、3月のNY州製造業指数 22.2	・額賀財務相「過度の為替の変動を懸念している」 ・リーマンB「流動性は引き続き非常に力強い状態」 ・米財務長官「介入への思惑は単なる推測」	98.18 98.19 95.77 97.33	154.63 154.63 151.82 153.10	寄付 安値 高値 終値
08/03/18 (火)	東京は本邦機関投資家によるリハドと噂される円買いからクロスを含めて円が小高い。欧米は欧米株高が堅調に推移したうえ、一部米系証券が発表した決算が予想より良好でドル買い材料に。	・中国が預金準備率を25日から0.5%引き上げ ・2月の米PPIは0.3%、同住宅着工件数106.5万件、同建設許可97.8万件 ・米国が0.75%の利下げ動意	・額賀財務相「現状の為替相場、過度な変動と懸念」 ・米財務長官「米経済は急激な減速局面」 ・ユーログループ議長「過度な為替変動は経済成長にとり望ましくない」	97.10 100.00 96.86 99.88	152.87 156.18 152.57 156.04	寄付 安値 高値 終値
08/03/19 (水)	東京は欧米金融機関に対する経営不安の噂などからドル売り活発。ただ下値でのドル買いも。欧米は米連邦住宅公社監督局の対応が好感され一時ドル買い。しかし米株が下落したことで再び売りへ。	・英系、スイス系の金融機関に経営不安の噂 ・3月のBOE議事録「7対2で金利据え置きを決定」	・米連邦住宅公社監督局「ファニーメイとフレディマックの自己資本率最低基準を30%から20%に引き下げ」	99.85 100.13 97.67 99.08	156.31 156.65 154.08 154.83	寄付 安値 高値 終値
08/03/20 (木)	東京市場が休場となったうえ、翌日豪州やNZ、香港などが休場とあって薄商い。欧米はイースターを前にした調整の動きに加え商品相場安からドルの買い戻し優勢。一時100円台も。	・3月の米FF連銀景況指数 17.4、2月の米景気先行指数 0.3%		98.65 100.21 98.45 99.50	154.26 155.17 151.70 153.52	寄付 安値 高値 終値
08/03/21 (金)	アジアタイムから休場が多く売買は手控えムード。そうしたなか日経平均の大幅高もあり円は弱含み。欧米は主要市場が休場でほとんど動意なし。	・主要欧州市場がイースターで休場 ・中国が2月末時点の外準を1兆6471億ドルと発表	・インドネシア銀行「東南アジア諸国中銀Gでドル安問題を協議」 ・UAE中銀総裁「ディレハムを切り上げる計画は現時点でない」	99.38 99.74 99.27 99.60	153.37 154.17 153.15 153.70	寄付 安値 高値 終値
08/03/24 (月)	東京の円絡みは値動きマチマチ。ただ金融機関の不安が台頭したボンドは全体的に買えず。欧米は欧州大陸市場が引き続き休場となるなか良好な米指標やヘア買収価格上げの報道からドル高へ。	・英系金融機関に資金繰り悪化の噂 ・JPMorganがヘアスターズ買収価格引き上げ、との報道あり ・2月米中古住宅販売件数503万戸		99.62 100.90 99.61 100.77	153.46 155.61 153.10 155.42	寄付 安値 高値 終値
08/03/25 (火)	東京はゴト-日仲値不足などを背景とした円売りに押され、ドル/円は一時101円台へ。欧米は前日から一変した米経済指標の悪さを嫌気したドル売り優勢。対円で1円を超える急落となった。	・アイスランドが政策金利を1.25%上げ ・SL連銀がブル-ル総裁の後任にブロード副総裁を指名、4/1就任 ・3月米消費者信頼感指数64.5、同リッチモンド連銀製造業指数6	・白川日銀総裁代行「世界経済の下振れリスクは高まっている」 ・バルデマシECB副総裁「最近の動きは行き過ぎ」	100.77 101.04 99.63 100.00	155.54 156.77 155.29 156.50	寄付 安値 高値 終値
08/03/26 (水)	東京は利食い売りなどから一時100円を割り込むも、押し目買い意欲強く再び100円台へ。行って来い。欧米はユーロが堅調。発表されたIFO指数が上れたことを好感、それに対して米経済指標は買えず。	・2月の貿易収支9700億円 ・韓国が8億ドル規模のウォン売り介入実施の観測あり ・3月の独IFO景況指数104.8 ・2月の米耐久財受注 1.7%、同新規住宅販売件数59.0万戸	・韓国企画財務次官「急激な動きをすれば市場に介入する」 ・ECB総裁「中期的に物価安定に上向きリスクがある」 ・BOE総裁「英国のインフレ率は3%前後に加速する見通し」	100.08 100.33 98.87 99.19	156.22 157.47 155.69 157.17	寄付 安値 高値 終値
08/03/27 (木)	東京は前日とは逆に一時ドル買い進行するも勢い続かず小反落。行って来いで大引け。欧米は米経済指標が比較的良好だったことでドル買い優勢。しかしリーマンBの経営不安で上げ渋り。	・4月の独GfK信頼感指数4.6 ・ポーランドが政策金利を0.25%引上 ・第4四半期米GDP確報0.6%、同個人消費確報2.3%、同コアPCE確報2.5% ・リーマンBに経営不安の噂	・額賀財務相「長い目で見れば円が強いことは国民にプラス」 ・G7筋「4/11にワシントンでG7開催」	99.17 100.17 98.56 99.65	156.89 158.04 155.88 157.23	寄付 安値 高値 終値
08/03/28 (金)	東京は期末のリハドで円買い先行するも株高に加え、北朝鮮のミサイル発射報道から一転円は急落した。欧米は円安でスタート。しかし米追加利下げ観測などが高まると流れに変化が。終盤に掛けては円堅調視。	・北朝鮮が短距離ミサイルを発射 ・第4四半期英GDP確報値0.6% ・2月の米個人所得0.5%、同個人消費0.1%、同コアPCE価格0.1%、3月のミシガン大消費者信頼感指数69.5	・NZ中銀総裁「現在の金利水準は適切」 ・独連銀総裁「ユーロ圏の物価圧力、警戒が必要な高値圏にある」 ・ユーログループ議長「来週のEU財務相会合で緊急危機が主要議題に」	99.55 100.40 99.10 99.25	157.39 158.35 156.56 156.79	寄付 安値 高値 終値
08/03/31 (月)	東京は期末に向けた不足から仲値に掛けて円が急落。しかし、その後は再び円買いが強まった。欧米は株高や米経済指標をにらみつつ採り合い。月末-期末で参加者はやや乏しく、売買手控え気味。	・2月の鉱工業生産 1.2% ・3月のユーロ消費者物価指数3.5% ・3月のシカゴPMI指数48.2	・米財務長官「強いドルは米国の国益にかなう」 ・加財務相「G7では金融業界規制に関し協議」 ・SF連銀総裁「住宅差し押さえを防ぐためさらなる行動が必要」	99.35 100.20 99.18 99.70	156.68 158.16 156.50 157.41	寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL： <http://www.fx-newsletter.com/>